

教育環境と教育活動の充実 ～4つのサポート(安全安心・学習・学校・広報企画)を通して～



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
観音寺市立 観音寺小学校	観音寺小学校学校運営協議会 平成31年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 17名 2名	観音寺小学校 サポート隊



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

本校は平成26年度、旧観音寺南小学校と旧観音寺東小学校が統合し、観音寺小学校としてスタートした。開校の1年ほど前、地域の中で学校を支える組織を作ろうという声があがり、地域の壁・学校の壁を乗り越えて、新しい学校を守り発展させようとサポート隊が結成された。より学校の要望や課題に即した活動にするため、平成31年度に設立した学校運営協議会のメンバーにサポート隊も加わり、相互に連携しながら諸活動を進めている。

目標や目指す姿(学校)

地域の教育力や強みを活かした安心で充実した学校教育

目標や目指す姿(地域)

安心して子どもを託すことのできる教育環境の整備
子どもにとって充実した教育活動になるための支援



観音寺小学校学校運営協議会 の特徴

委員の立場や属性等

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 自治会代表者 | <input type="checkbox"/> PTA会長 |
| <input type="checkbox"/> 公民館長 | <input type="checkbox"/> 学識経験者 |
| <input type="checkbox"/> サポート隊代表者 | <input type="checkbox"/> 有識者 |
| <input type="checkbox"/> 人権擁護委員 | など、計 13 名で構成 |
| <input type="checkbox"/> 主任児童委員 | 年間平均 3 回程度開催 |

効果的な運営の工夫

短時間で、より充実した話し合いができるように、事前に会長・副会長・PTA会長・校長などで企画委員会を設け、議題の精選及び事前情報収集を行っている。必要に応じて事前に資料を配布し、委員に意見や感想をもって参加してもらうようにしている。
また、児童の実態に即した議論ができるように、会議と授業参観日を同一日とし、直接児童の様子を見てもらってから会議を行っている。
評価に関しては、年度末だけでなく、各行事に参加してもらった時もアンケートを実施し、最後に総括できるようにしている。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

年度当初には、サポート隊と学校経営方針の共有を図るとともに、児童のより一層の現状把握が取組に必要であると考え、サポート隊のメンバーにも運動会や授業参観などの学校行事への参加を奨励することとした。また、年度末には、サポート隊の計画に基づく実践の評価と連携体制や取組のさらなる改善に向け協議することとしている。



学校行事への参加

地域学校協働活動

市街地で交通量が多いため、安全安心サポートとして登下校を見守ってくれている。下校時には青色防犯パトロール車で巡回したり、入学後1カ月は毎日1年生に安全指導をしてくれたりしている。また手作りの信号機を利用して、4年生の自転車教室にも協力を得ている。



登下校の安全指導

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

学校運営協議会のメンバーに、サポート隊から男女各1名の委員を選出している。会議や行事参観を通して、学校や児童・保護者が求めているもの、今課題となっていてサポートが必要なものなどの情報を得るとともに、学校運営協議会から様々なアイデアや意見をもらい、実際の活動につなげている。また、その実践を通して感じたことを、学校と違う地域の立場から学校運営協議会で報告し、提案・検討してもらっている。

取組

成果・効果

- 年間を通じて、様々な活動のサポートを継続して実践してくれていることにより、学校・地域の中で学校運営協議会・サポート隊の存在が、必要不可欠で、たよりになる存在となっている。
(保護者アンケートより:学期に1回実施)
 - ・ 入学してすぐの下校は心配していたけれど、毎日送ってくださり、温かな言葉かけをしてくれるので、とても助かっています。
 - ・ 「サポート隊の人が優しい」と子どもが言っています。これからも続けていただけると、安心できます。
 - ・ 毎朝サポート隊の皆様のおかげで、安全に登校ができます。本当に心強いです。
 - ・ サポート隊の方が、毎日横断歩道のところで声をかけてくださって、おしゃべりするのが楽しみになっています。
 - ・ 交差点などで、朝、サポート隊の方を見かけると、なぜかホッとします。ありがとうございます。
- 新入生下校サポートから始まる児童との関係は、校外学習・自転車教室・マシンサポートと学年が上がるとともに深まり、地域に守られていることを実感できているので、卒業後も地域の一員という意識をもつことができている。
- 児童・保護者・地域を結ぶ存在であり、子・親・祖父母という三世代の交流を活性化するきっかけにもなっている。
- 計画・検討・評価をする学校運営協議会と、実際にそれを活動にうつすサポート隊という役割分担がしっかり成立していることにより、多角的な見方で、マンネリ化することなく、より充実した活動を積み重ねることができている。